

■軍撤収後民間人410遺体

キーウ周辺通りに放置



ウクライナ大統領「集團虐殺」

独立した調査不可欠

国連事務総長が声明

【イスラエル=時事】ロシア軍が地上部隊を撤収させたウクライナの首都キーウ（キエフ）周辺で民間人とみなれる遺体が多數見つかった問題で、ウクライナ司法当局は2日、これまでに各地で民間人計410人の遺体が発見されたと発表しました。当局はロシア軍による戦争犯罪の可能性が懸念されており、捜索を続けています。

→関連の面

キーウ北西のアチャカをめぐる通りで「ショノサイド」と呼ばれる地区で、遺体が発見された（集団虐殺）だと非難。ロシアの「チーフ大統領の様子が現地からの報道で伝えられ、国際社会に衝撃を与えたました。ゼレンスキイ大統領は、「これが何を意味するか理解されなければならぬのです、命令を下した全ての軍司令官も「適切に処理されなければならぬ」と訴えました。ロイター通信によると、

一方、ロシア国防省はこの声明で、アチャカの民間人が殺害されたとの報道を否定。報じられた写真や動画は「捏ね」で、「ウクライナの政権が演じた」と主張します。ウクライナ側がロシア軍の罪を立ち上げたところを示しました。